

2023 年度同好会部活動報告

同好会部長 中田幹雄

1. 同好会部の現況と活動状況

- ① 同好会部の構成は以下の通り。(発会順)

ヨガ同好会	： 須藤志能子先生 (H06 文)	毎月一回開催
絵手紙同好会	： 鈴木 君子先生 (H22 文)	毎月一回開催
太極拳同好会	： 樫川 房江先生 (H19 文)	毎月一回開催
書道同好会	： 塩島 秋葉先生 (S58 文)	隔月開催
俳句同好会	： 和田 順子先生 (H03 文)	隔月開催
読書同好会	： 庵原 高子先生 (H07 文)	隔月開催
散策同好会	： 中田幹雄リーダー (H24 文、H30 法)	年二回開催
- ② 各同好会の講師は各々の分野に造詣の深い会員のご協力をいただき、各同好会員により自主的かつ活発に予定通りのペースで活動できた。
- ③ 2023 年度は新型コロナが新たな分類に移行したこともあり、新入会員も増えて徐々に賑やかになりつつある。
- ④ 活動後はランチやお茶など、親睦を深めるプラスアルファの楽しみもある。

2. 同好会の PR

- ① 自らの意思で自らの嗜好に合った同好会に参加することこそが、三田会活動の本当の楽しさを感じることができるという考えのもと、同好会活動を楽しむ会員を増やすことが、神奈川通信三田会の会員の維持/増加につながると考えて同好会活動を積極的に PR した。
- ② 具体的には、以下のような PR 活動を展開した。
 - ・神奈川通信三田会のホームページの利用
 - ・1 月の年間活動計画配布への同好会活動の新 PR パンフの同封
 - ・会報『日吉の杜』での同好会活動の紹介
 - ・創立 50 周年記念誌『集い 50 年』での同好会特集ページ

3. 新たな同好会作りへの動き

- ① 様々な趣味を持つ会員を発掘し、これを後押しして新たな同好会作りへの呼びかけをスタートさせた。
- ② 「テニス」「囲碁」「ハイキング」「釣り」「麻雀」「ゴルフ」など、新たな同好会設立の呼びかけを通じて来年度以降の成果に期待したい。

以上

2024 年度同好会部活動計画案

同好会部長 中田幹雄

1. 既存同好会の会員増加促進

- ① 会員の維持/増加は、自らの意思と嗜好に沿った活動への参加即ち同好会活動への参加こそがその早道との基本的な考え方のもと、2024 年度も様々な方法やルートを通じて既存同好会の会員増加を図る。
- ② 後述の様々な媒体での PR の継続のほか、前年度の経験から最も効果的な会員増加策は「既存会員による口コミでの勧誘」と思われるため、2024 年度はこれに重点を置いて会員増加に取り組む。

2. 同好会活動の PR の一層の促進

- ① 「年間活動計画」「会報などの印刷物での PR」「ホームページでの活動予定や活動状況の紹介」などあらゆる機会を捉えた同好会情報の提供を継続する。
- ② 新たな PR 手段として、関係各部の協力を得て「映像特に動画」の活用を考えたい。
- ③ 具体的には、各同好会の活動の様子を動画で記録してホームページ上で公開するなど、「文字と写真」に「動画」という手法も加えたい。(より視覚に訴える)

3. 新たな同好会の発足へ

- ① 同好会は神奈川通信三田会の会員 3 名により発足できる気軽さと、会員も神奈川通信三田会会員に限定しないという壁の低さと自由さが特徴である。
- ② この特徴を強く訴えて新たな同好会作りを積極的に後押しすることにより、毎年 2~3 つの新しい同好会を立ち上げることを目標に活動していく。
- ③ 中期的目標として今後 3 年間で同好会を倍増（累計 15 同好会）させたい。
- ④ 現在「(仮称) ハイキング同好会」の発会を検討中、とりあえず現行の「散策同好会」の中でハイキングを取り入れ、トライアルとして 2024 年度は「散策同好会」の実施回数を現行の年二回から年四回とし、「神社仏閣塔の歴史探訪、美術館・博物館等の施設見学」を中心に行う従来の「散策」を二回、「健康志向で自然を楽しみながら歩く」ことを主眼とする「ハイキング」を二回実施する。
その様子を見た上で「ハイキング同好会」としての独立の可能性を探る。

以上